



岡一だより

学区・保護者配付
平成24年2月15日
新潟市立岡方第一小学校
第18号

寒い日には読書しよう！

学校図書館司書 石井菜穂美

立春とは名ばかりで、寒い日が続いています。雪が多く降った時には、外に出るのもおっくうになります。そんな時には、お家でゆっくり読書を楽しみましょう。

私は本の中ではファンタジーという分野が好きです。「哲夫の春休み」斎藤惇夫・作という本では、主人公の哲夫は小学校を卒業し中学生になる前の春休み、哲父の故郷へ一人旅をします。列車の中や長岡の町で、父の子供時代や、若者時代にタイムスリップを繰り返します。今の長岡の街並みや風景と、一昔前の長岡が交互に描かれ、懐かしい気持ちになります。作者の斎藤惇夫さんは、新潟市生まれで、小学1年より高校卒業まで長岡で過ごしています。代表作は1970年処女作『グリックの冒険』で日本児童文学者協会新人賞を受賞、72年の『冒険者たちーガンバと15ひきの仲間』で国際児童年特別アンデルセン賞優良作品、83年の続編『ガンバとカワウソの冒険』で野間児童文芸賞を受賞しています。

また、ダレン・シャン作「デモナータ」という本は、主人公の悪魔同盟の人たちが、悪魔から人類を救うお話です。ダークファンタジーですが、主人公が少年少女で、どんな状況でもけして諦めないポジティブさが、ラストでは大逆転になり、痛快でした。昔から語り継がれている良書ではありませんが、話に引き込まれ、一気に読み込んでしまいます。5年生の子は、390ページ全10巻をあっという間に読み終えてしまいました。一巻を読み終える度に、感想を教えてください、冒険について私と語り合いました。少々気味の悪いお話ですが、仲間と力を合わせて、人類を救う姿に力が湧いてきます。代表作には『ダレン・シャンシリーズ』『クレプスリー伝説』などがあります。

今年度の貸し出しは、2月24日で終了します。返却日は27日～29日です。3月1日から7日まで、図書館は、蔵書点検をします。約、5,000冊の本が全てあるか、壊れている本はないか一冊ずつ点検します。子どもたちの大切な本です。返し忘れがないようにお願いします。また、返しそびれた本は、図書館前の返却箱に入れてください。



キャリア教育の授業を実施 ～立派な社会人になるために～

2月10日（金）ビジネスコンサルタントの田中哲也さんを講師にお招きして、6年生のキャリア教育を実施しました。

田中さんは、仕事をする理由として次の3点を上げていました。

①経済性、②社会性、③自分のため。

仕事をする上で大切なことは、②の社会性と③の個人の興味関心だということです。

単にお金のためだけでは、意欲も向上心も湧かず、ノルマを果たすだけになってしまいます。それでは、顧客に失礼ですし長続きしないそうです。

説明を聞いた子どもたちは、インターネットで「13歳のハローワーク」のホームページを使い、いろいろな職業について調べていきました。そして、たくさんの職業を調べながら、自分の将来について夢をふくらませていました。

最後に、田中さんは、あいさつの大切さについて次の内容を真剣に語りました。

「どの職業でも、先輩から手ほどきを受けないと、仕事を覚えられません。先輩は人間だから、感情があります。あいさつをきちんとできる人には、熱意を持って教えますが、あいさつをせず、気持ちが通わない人には、熱心に教えません。熱意を持って教えてもらえれば、どんどん仕事を覚え、成就感を味わい仕事になりますが、熱心に教えてもらえない人は、仕事がうまく覚えられず、しかられることも多くやる気を失いがちです。仕事をするためには、あいさつが一番大切です。

あいさつは、中学生までに身に付けましょう。高校生になると、恥ずかしさが出てきて、素直に練習ができなくなるからです。今から練習して下さい。」

立派な社会人になるために、子どもたちは、しっかりとしたあいさつができるようになろうと努力しますが、保護者や地域の皆様からもあいさつの声掛けをよろしくお願いします。上手にあいさつができていたら、褒めてあげてください。



ふれあい班なわとび大会

「思いやり、助け合い、声をかけ合う」を合い言葉に、2月7日（火）ふれあい班大なわ大会を実施しました。6年生から1年生の班のみんなが心を一つにして、大なわの記録に挑戦しました。

「だいじょうぶ、だいじょうぶ」「ドンマイ」失敗した子に、やさしいはげましの声を掛けていました。跳べない子には、みんなで「ハイッ、ハイッ…」と、跳ぶタイミングのかけ声を掛けたり、上級生が下級生の背中を押してやりする姿が見られました。

大なわの練習を始めた時、3分間で70回しか跳べなかった班が150回を超したり、200回を超す班が2つも出たり、どの班も見違えるように記録が伸びました。

みんなで助け合い協力することで、成長できることを実感できた大会だったと思います。

